

かいなんしちいきふくしかつどうけいかく 第3次海南市地域福祉活動計画



5年間のわたしたちの^{らしんばん}羅針盤

2025年度
(令和7年度)

- 2029年度
(令和11年度)

—概要版—



「市民みんなで安心していきいきと暮らしているまち」を実現するため、この計画は、これから5年間のわたしたちが取り組んでいく目標（ゴール）への羅針盤です。

3つの目標（ゴール）に向けて、9つの基本施策を設定しています。

目標 1

助け合い
支え合おう

目標 2

困りごとを
受け止め
つながろう

目標 3

安全・安心な
くらしを



海南市社会福祉協議会

地域福祉とは？

「地域福祉」とは、年齢や性別、国籍、障害の有無等に関わらず、地域で暮らすすべての人が安心して暮らせるよう、地域住民や福祉関係者等がお互いに協力しあい、助け合いながら地域の福祉課題の解決に取り組む考えです。

地域福祉の推進は、地域住民の主体的な助け合いを支え合える関係づくり（地域のつながりづくり）を基軸として、さらに福祉活動を支える多様な関係機関・団体との連携のもとで、“誰もが人としての尊厳をもって、家庭や地域の中で、その人らしい心豊かな生活が送れるような地域社会”をつくっていくことが重要です。

海南市の地域福祉における課題

市民アンケートやこどもアンケート、地域福祉懇談会、福祉関係者ヒアリング等を通して、海南市を取り巻く地域課題が見えてきました。

- ① 地域との連携・つながりの強化（つながりの希薄化、近所付き合いの減少 など）
- ② 地域福祉の担い手の育成（地域活動への参加割合の低下、ボランティア等の高齢化 など）
- ③ 相談体制の整備・充実（支援が困難な事例、制度の狭間の事例などの増加 など）
- ④ わかりやすい情報の発信（情報格差の課題 など）
- ⑤ 安全・安心なまちづくりの推進（「防災意識が低い」「水害が心配」など災害に関する課題 など）

計画の基本理念 「市民みんなが安心していきいきと暮らしているまち」

助け合い・支え合いの活動が生まれ、誰もが心身をすこやかに保ちながら安心して暮らせるまちをめざし、市民一人ひとりが地域福祉推進の担い手であるという考えから、計画の基本理念を「市民みんなが安心していきいきと暮らしているまち」と定めています。

【包括的な支援体制の仕組み】

「相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を基に、公民協働で一体的な支援を行います。



目標 1

助け合い 支え合おう

助け合い・支え合える地域コミュニティづくり

コミュニティの希薄化と社会的孤立を防止していくため、地域住民や関係団体等の交流を促進し、福祉意識を高めることで、地域全体で地域の課題解決につなげられる地域づくりを進めます。また、次代の担い手の育成に努めるとともに、多世代交流や、誰もが参加できる多様な居場所づくりをすすめます。

【基本施策】

- (1) 地域における助け合い・支え合い体制を構築します
- (2) 地域における参加・交流できる場や居場所づくりに取り組みます
- (3) 地域共生社会の実現に向けた取組を推進します



地域福祉活動支援事業

海南市内 17 地区（旧小学校区）で見守り、居場所づくり、買物支援など地域の特色に合わせた活動が継続的に展開されるようを支援します。



多様な居場所づくり

誰もが気軽に参加できるような身近な地域で多様な居場所づくりを行い、地域で出会いのきっかけや仲間づくり、交流や社会参加の機会を作ります。



福祉教育の推進

互いに多様性を認め、尊重し合える地域づくりに向けて、当事者など地域の様々な人や機関と連携しながら福祉意識の醸成に取り組みます。



子どもの居場所づくり支援

地域の子どもの居場所づくりや大人と地域交流の場となるよう、子ども食堂の立ち上げ支援、運営支援などを行います。

目標 2

困りごとを 受け止め つながろう

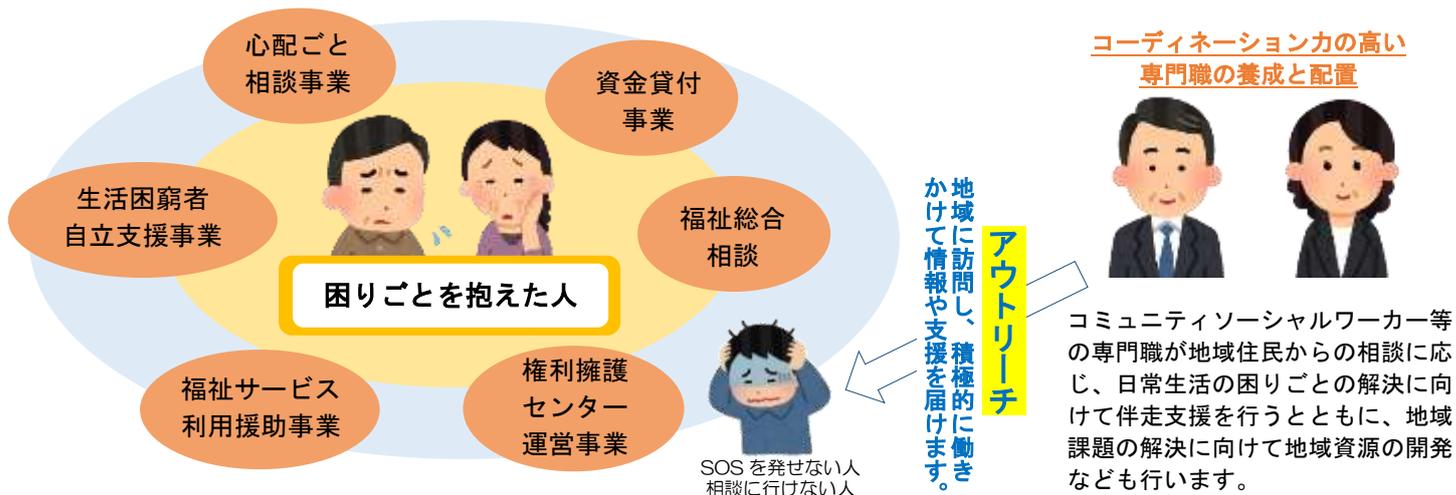
必要な支援が得られ、つながりつづける地域づくり

多様化・複合化した生活課題に対応するために、困りごとを抱えている人や支援を必要とする人が気軽に相談できる環境づくりに取り組みます。

また、相談をワンストップで受け止め、様々な分野の異なる専門職が連携し、それぞれの役割を活かしながら、切れ目のない包括的な支援を提供できるように支援体制を強化します。

【基本施策】

- (1) 多様な機関・団体の連携と協力による包括的な相談・支援体制を構築します
- (2) 多様なメディア・機関・団体を効果的に活用した情報発信を推進します
- (3) 不安や悩みを抱える人が孤立せず、社会全体で寄り添い支援する体制を強化します



目標3

安全・安心な
暮らしを

安全・安心な支え合いのまちづくり

災害に備えて防災に関する知識の普及や啓発を行うとともに、地域の関係者が連携して行う研修や防災訓練などの自発的な取組を支援することで、地域防災力を高めます。
また、自分の暮らす身近な地域をより良くしていくために、地域の一人ひとりが地域活動、ボランティア活動に参加し、安全・安心な支え合いのまちづくりを推進します。

【基本施策】

- (1) 地域を基盤とした災害に強い地域づくりを推進します
- (2) 新しい参加と支え合いを生み出す仕組みづくりに取り組みます
- (3) 安心して暮らせるやさしいまちづくりを推進します



災害ボランティアセンター
設置運営事業

被災者への支援活動が円滑かつ的確に実施できるよう、災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施やマニュアルの見直しを行い、センター機能強化に努めます。



地域ニーズに応じた生活支援・
外出支援ボランティアの推進

アンケート調査や聞き取り等を基に地域ニーズを把握し、ニーズに応じた外出支援や生活支援を実施していきます。活動を通して社会参加やつながりづくり等地域コミュニティの強化に努めます。



ボランティア育成事業
(夏のボランティア体験など)

ボランティア活動のきっかけづくりとして小・中学生、高校生を対象とした夏のボランティア体験月間事業を実施し、ボランティア団体や関連施設と協働し取組を行います。

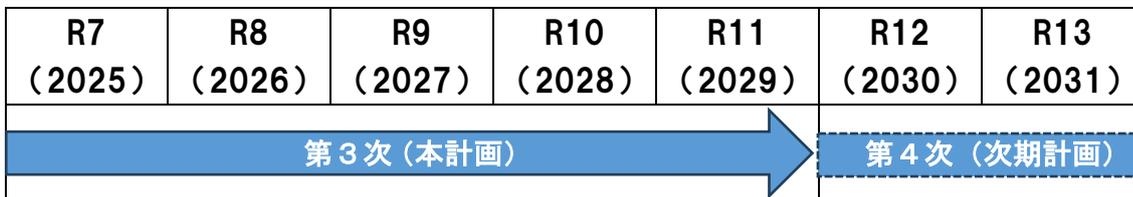


災害時応援協定の締結

災害発生時に迅速かつ的確に被災者の支援活動ができるよう、災害時応援協定を締結します。また、協定先と平時より連携を図るため、情報共有や連携して訓練を実施します。

計画の考え方

本計画は、これから5年間（2025年度 - 2029年度）、3つの目標（ゴール）に向け9つの基本施策を設定し、地域住民、行政などと協働で取り組むものです。



また、「PDCA」サイクルを活用し、Plan（計画）、Do（実行）、Check（点検・評価）、Action（改善・見直し）を繰り返すことで、進行状況の把握と課題解決を行い、継続的な改善に努めるとともに、海南市地域福祉活動計画推進検討会の意見を基に実施状況の精査と計画の進捗管理を行います。

